

市町村のまちづくり

弘道館・水戸城跡周辺地区の歴史まちづくり ～水戸市～

水戸市教育委員会事務局教育部 歴史文化財課 薄井俊平

趣旨

弘道館・水戸城跡周辺地区は、世界遺産登録を目指す弘道館をはじめ、水戸城の歴史を伝える豊かな歴史的資源が現存し、また、北辰一刀流剣術など、弘道館の精神を反映した人々の活動が受け継がれており、関東でも有数の城下町の名残を今にとどめています。

このように、水戸の歴史の象徴でもある本地区の歴史的魅力を高め、多くの人々が訪れる歴史まちづくりを推進していくことは、市民の郷土愛の醸成や郷土への誇りを育むとともに、中心市街地のにぎわいを創出し、活性化を図っていく上でも必要です。

本市としては、平成22年に国の認定を受けた歴史的風致維持向上計画に基づき、歴史的景観の保全・形成を図るとともに、大日本史編さんの地・水戸彰考館跡に立地する第二中学校の校舎改築にあわせ、歴史的景観に配慮した正門や白壁塀の整備等を推進してきたところです。

弘道館・水戸城跡周辺地区の歴史まちづくり基本構想は、これらの礎のもと、水戸市第6次総合計画に位置付けた水戸の顔にふさわしい歴史まちづくりを総合的に推進するため、本地区の歴史的景観を磨き、輝かせ、多くの人々が来訪する魅力ある空間形成を目指した歴史まちづくりの基本方針と施策を定めたものです。

の道路景観整備が一部にとどまり、人々が集い、にぎわいを創出する休憩施設等が少ない状況となっています。

本地区のまちづくりの視点

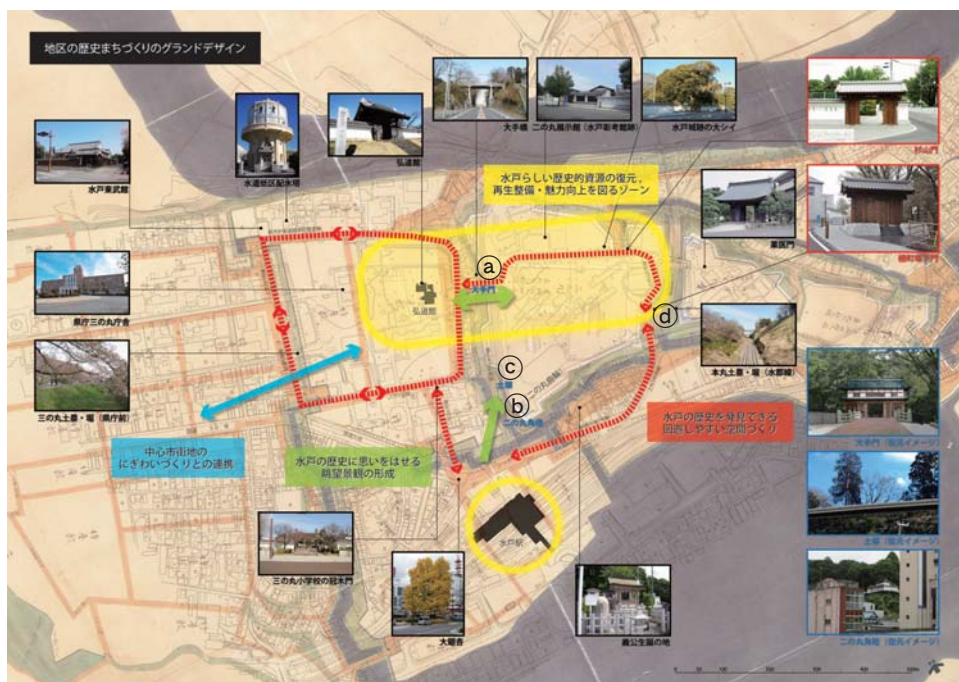
多くの市民や観光客が、本地区を訪れ、その魅力を再発見できるよう、以下の三つの視点からの歴史まちづくりに取り組んでいます。

- ①誰もが水戸城を感じることができる歴史的空間づくり
 - ・水戸の歴史の象徴である水戸城歴史的建造物の復元整備
 - ・風格の感じられる歴史的景観づくり
 - ・学校教育，社会教育面での活用
- ②水戸城跡の魅力資源を繋ぎ、楽しく歩きたくなる回遊性の創出
 - ・眺望景観に配慮した歴史的建造物の復元整備
 - ・歴史を感じることでできるモニュメント等の整備
 - ・歴史的資源や未利用地の有効活用
- ③歴史的資源や回遊空間の保存・活用による市民や観光客の交流拠点づくり
 - ・歴史を感じ、歩いて楽しめる歩行者空間の整備
 - ・回遊しやすいサインの配置，マップ等の作成
 - ・市民との協働による推進体制の整備

地区の課題

在りし日の水戸城は、土塁と空堀によって築かれた国内最大級の土造りの平山城として知られています。戦災等によって、多くの建造物を失いましたが、土塁と空堀の遺構、薬医門や弘道館をはじめとした歴史的資源が現存するなど、城跡の名残をとどめ、日本100名城にも選定されています。

しかし、本地区の大部分が学校や官公庁の敷地となっているため、往時の風情を偲び、回遊性を高めるための核となる歴史的資源が少なく、また、本地区が旧水戸城内にあることを印象付け、回遊性を高めるため

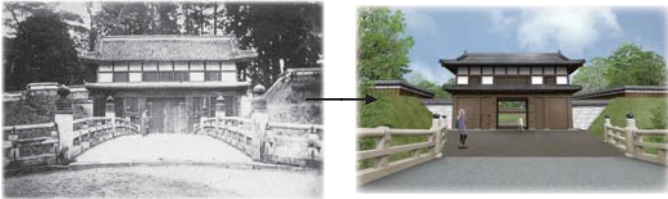


■歴史的建造物の復元等整備

水戸城歴史的建造物において、現在、大手門、二の丸角櫓、土塀の復元等整備を計画しています。これまでにを行った発掘調査の結果、その規模と位置が判明し、また、絵図や古写真も確認しています。このような調査に基づき、遺構（茨城県指定史跡指定地内及び水戸市指定史跡指定地内）を保護しながら復元等整備を進めます。

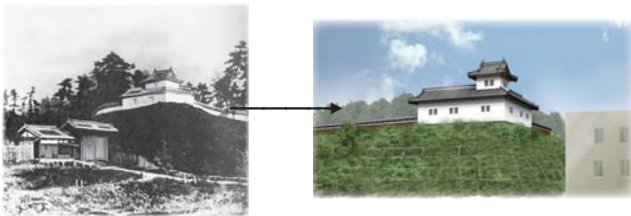
大手門は、弘道館の正門と向かい合い、水戸城跡への導入部として重要なランドマークとなります。二の丸角櫓は、土塀と相まって多くの観光客が降り立つ水戸駅北口ペデストリアンデッキから眺望できるランドマークとして、多くの人に水戸城跡の存在を気付かせ、期待感を持って本地区に向かう契機となります。大手門と二の丸角櫓の間等には、土塀が廻っていたことが確認されており、大手門、二の丸角櫓と点在する歴史的建造物を結び、一体的な整備を行うことにより、訪れる人により強く水戸城を印象付けることが期待できます。

①【大手門 復元イメージ】



(文京ふるさと歴史館所蔵)

②【二の丸角櫓 復元イメージ】



(水戸市立博物館所蔵)

③【土塀 復元イメージ】



■道路景観整備及び水戸城歴史的建造物の再生整備

観光まちづくりにつながるよう、歩いて楽しめる歩行空間を確保するとともに、歴史的資源間の回遊性を高めるために視覚的な誘導を図ります。

また、水戸城跡通りは、水戸城跡周辺地区を横断し、回遊ルートメインとなることから、視覚的な誘導を図っていくための効果的な仕掛けが必要となります。そのために白壁塀、杉山門、柵町坂下門等について、水戸の歴史を感じることでできる歴史的モニュメントとして、道路景観整備に位置付け、茨城大学や茨城県の協力を得ながら、再生整備を進めています。

④



柵町坂下門



歴史的景観整備

■地域との協働

地域や旧水戸城大手門等復元整備促進実行委員会との協働により、一枚瓦城主制度による寄付金募集を行っています。

また、ご寄付をいただいた方々には、大手門の着工後に瓦の記念会を実施し、自分の瓦が大手門等に葺かれていることを実感できることにより、末永く愛着の持てる建造物になっていくよう計画しています。



■今後の展開

平成31年の「いきいき茨城ゆめ国体2019」に向け、大手門を含めた弘道館・水戸城跡周辺地区の景観整備を推進し、本市はもとより、県内外から水戸を訪れる方々に『来て、見て楽しめる』交流拠点づくりを進めていきます。